議会運営委員会行政視察（概要）

１　視察日
　令和６年10月29日（火）～30日（水）

２　視察項目（視察都市）
　・議会改革ほか議会運営全般について（下関市）
　・議場会議システムほか議会運営全般について（中間市）

３　参加委員
　委員長：岩本　　守　副委員長：西本　睦子
　委　員：永田　真樹、大嶺　さやか、下野　　巖、岡本　壱郎、
　　坂口　康博
　議　長：長谷川　浩　副議長：稲葉　通宣

４　調査概要
　下関市では、議会改革の取組の一環として「市民と議会のつどい」を実施されている。これは市政の様々な課題に柔軟に対応するため、市政全般にわたって議員と市民が情報や意見を交換できるよう平成24年から開始された。また、議場に採用されている採決システムは、平成26年に竣工した新庁舎の建設に伴い整備された。議場内モニター及びインターネットのライブ中継においても採決の画面を配信しており、議会の見える化に寄与している。
　中間市では、従前の議場会議システムの老朽化が進みシステムの不具合も発生するようになったため、新システムの導入に至った。新システムはワンタッチオペレーションにより一人での操作が可能で操作人員が大幅に削減できたほか、併せて電子採決システムも導入されている。今後はタブレット端末とも組合せ、完全ペーパーレスを目指す方針とのことである。

下関市にて

５　委員長所感
　下関市の市民と議会のつどいについては、より効果的な方法を模索され常任委員会ごとに開催する方法に変更されるなど、本市においても参考となる点があった。また、電子採決システムは、あらかじめ議案の賛否を確認し電子採決を行う議案を登録する必要があり、全ての議案を電子採決システムで処理しているわけではないが、各議員の議案に対する賛否が一目瞭然であるため、市民への見える化の点で有効である。
　中間市においては、導入から３０年以上経過した従前の機器の入替えのため新しい議場システムを導入され、操作人員を大幅に削減することができた。また、同時に導入された電子採決システムやＹｏｕｔｕｂｅでのライブ中継についても議員や市民から好意的な意見が多く、議会の見える化に大きく貢献していると感じた。